

真をめる者、ウマル (1/3) : 「ウマルによってイスラムは化される

:

明:どのようにして 言者ムハンマドの第二の 者がイスラムを受け入れたかについて。

目:[事 言者ムハンマド彼の教友たちの物](#)

より: ア イシャ ステイシ

日 5 Feb 2013

集日 25 Feb 2013



イスラムの がウマルの名を耳にすると、彼らは膝を震わせる程でした。サタンが道端をくウマルを目にすると、彼は反方向へと逃げ去った程です。ウマルの友人たちでさえ、彼の存在感に倒された程で、彼が怒るのを恐れていました。しかしながら、この力き男はにし、柔和で思いやりにちた心を持っていたのです。ウマルは弱になることなく、しました。ウマルは二つの照的なを持ち合わせていたため、言者ムハンマドの教友たちの中でも独特な存在でした。ウマルによる真への道は、言者ムハンマド、そしてイスラムにする激しい憎から始まりましたが、その憎はやがて烈な情へと変わりました。ウマルブンアル=ハッタブはイスラムを化したのです。

ウマルは裕福でもしくもない、中流の家庭であったクライシュ族の一氏族であるアディ家に属していました。彼の父は格な人物として知られ、ウマルを底的にしごき、必要とあらば体を加えました。しかしながら、ウマルは当のイスラム以前のアラビア半

においては稀な能力であった、みきが出来たとされています。彼は言者の生からおよそ11年に生まれ、比的色白な肌を持ち、非常に身でがっちりとした体格と、勇猛な性格に加え、格にもけていました。

少年代のウマルは、彼の父と叔母のために羊いの手いをし、酬をとっていましたが、それによる丸一日の得たものは、一握りのナツメヤシだけでした。彼は入をやすために格技をしたりしましたが、成人すると商人として成功を求め、尊敬される人物となりました。ウマルは力強い人物として知られていました。彼の姿勢と物腰はな体力を示し、声は大きく、堂々としていました。ムハンマドの教えがマッカ住民にとってとして表面化したとき、ウマルはイスラムへの憎を公言し、イスラムの新改宗者たちへの虐待や拷問に加わっていました。

二人のウマル

彼のウマルという本名では知られていないものの、イスラムにするもう一人の力強い人物がいました。彼はアブハキム（英知の父）としても知られていましたが、史においてはイスラムの天アブジャハル（知の父）としてされています。言者ムハンマド（神の慈悲と祝福あれ）は、イスラムの真を知しない彼の完全な知さから、彼をアブジャハルと名付けました。承によると言者ムハンマドは、二人のウマルの内のどちらかよりされた者によってイスラムを化してくれるよう、手を上げて神へとしています。イスラムの、そして言者ムハンマドの教友たち双方にとって、ウマルブンアル=ハッタブがイスラムに改宗することは、全く思いもよらないことだったのです。

ウマルのイスラムにするあまりの憎は、彼を言者ムハンマドの害へとかしました。彼は一瞬のためらいもせず、マッカの街路をし、をき言者の生命をおうと意していました。マッカのれムスリムの一人は、彼の表情をた瞬、言者ムハンマドが危にあることを悟りました。彼は自分に及ぶかもしれない危を省みず、ウマルに近づき、そんなに急いでどこに行くのかと彼にねました。ウマルは、「我々を分裂させ、我々の神々をり、我々を鹿にした男のところへ行くのだ。」とえた、「奴をす。」と言いました。

ウマルの目は い で溢れ返りました。彼は、「我々は、これに していたというのか？」と ねます。「この言 を した者は、崇 されなければならない。」ウマルは妹の家を出て、ムハンマドのもとへ急ぎました。言者ムハンマドの周 の人々は怖れていましたが、彼らはウマルを 言者のもとへ通しました。言者ムハンマドは彼を掴んでこう言いました。「なぜここへ来たのだ、ハッタ ブの息子よ？」

ウマルは 言者ムハンマドを前に じ入りつつも、喜びと共にこう言いました。「神の使徒よ、私がここへ来たのは、神とその使徒を信じることを表明するためだけです。」言者ムハンマドは嬉しさのあまり、「神は 大である！」と叫びました。数日も立たないうちに、ウマルはムスリムの列を え、神の へと向かい、そこで皆、おおやけに礼 を したのです。この出来事をもとに、言者ムハンマドは彼にアル=ファ ル ク（真 を める者）という称号を与えました。彼は真理と虚 を 分けることが出来たからです。イスラムはウマルによって 化され、彼の憎 は果てしない 情へと 化しました。彼の生と死は、神とその使徒のためのものとなったのです。

この 事のウェブアドレス:

<https://www.islamreligion.com/jp/articles/2100>

著作 2006-2015 断 を禁じます。 2006 - 2023 IslamReligion.com. 断 を禁じます。